

プログラミング支援ツール NP4H-SEDBV3 バージョンアップについて

1. 対象機種

IEC61131-3 準拠プログラミング支援ツール SX-Programmer

形式	品名	最新バージョン	バージョンアップ時期
NP4H-SEDBV3	Expert (D300win)	V3.3.7.1	2006年12月

2. バージョンアップサービスの概要

ホームページからのバージョンアップサービスは、旧版の Expert (D300win) をお持ちの方を対象として、アップグレード機能を用いて最新の Expert (D300win) 使用環境を提供します。

ホームページからのダウンロードにより、最新の Expert (D300win) を容易に取得できます。

SX-Programmer Expert (D300win) V3.3.7.1 用アップデートファイル : ExpertUpdateV3371.exe

3. 最新バージョン V3.3.7.1 の主な変更内容 (2006 年 12 月)

(1) V3.3.7.0 の不具合修正

SPH200 または SPB に対してプロジェクトをダウンロードすると、アプリケーションエラーになる不具合を修正しました。

4. 主なバージョンアップ履歴

(1) V3.3.7.0 (2006 年 11 月)

- ① ボードコントローラ オプションカード対応

(2) V3.3.6.0 (2006 年 10 月)

- ① IP アドレスリスト ネットワーク機器検索機能
IP アドレスリスト機能にネットワーク機器検索を追加しました。
- ② ZIP ファイルのオフライン保存機能
ZIP ファイルをパソコンのディスクに保存する機能を追加しました。

(3) V3.3.5.0 (2006 年 8 月)

- ① サーボシステム FALD I C A L P H A 5 対応
- ② V3.3.4.1 の不具合修正
SPH300EX 以外の機種にて、変数名の最後が ' _E' のグローバル変数を AT 指定するとコンパイルエラーになる不具合を修正しました。

(4) V3.3.4.1 (2006 年 7 月)

- ① 高性能 CPU モジュール S P H 3 0 0 E X 対応
- ② V3.3.3.0 の不具合修正
SPH2000 (NP1PM-48E/256E) にて、FTP アクセス機能が使用できない不具合を修正しました。

(5) V3.3.3.0 (2006 年 5 月)

- ① パスワード機能の拡充
前バージョンで追加した、PLC オンライン操作の制限設定機能に対し、ユーザにてアクセス制限範囲を設定する機能を追加しました。パスワードによって制限される機能はアクセスレベルごとに設定できます。
- ② クロスリファレンス付きラダープログラム印刷機能追加
プロジェクト印刷機能にて、クロスリファレンス情報をプログラム印刷ページと同一ページに印刷する機能を追加しました。
- ③ 変数定義ダイアログの設定改善
変数定義ダイアログにて、グローバル変数グループの指定方法の「ワークシートの全変数を表示」機能のデフォルト状態を「設定有り」に変更しました。

- ④変数情報のツールチップ表示
ワークシート上に各変数のデータ形、初期値、コメントなどをツールチップ形式で表示します。

(6) V3.3.2.0 (2006年1月)

- ①パスワード機能の拡張
PLCオンライン操作の制限を設定する機能を追加しました。
本機能を使用してアクセス認証用パスワードを設定することにより、PLCへの操作をレベル1、レベル2、レベル3、の3段階で制限することが可能となります。
- ②変数表示モードの一括リセット 設定
LD/FBDワークシートにおける変数表示モードを一挙動でデフォルト設定に戻す機能を追加しました。
- ③SPH300 ファームウェア対応 (V**65)
・縮退立上げ時間短縮機能
・強制設定状態継続運転

(7) V3.3.1.0 (2005年11月)

- ①ボードコントローラ対応
・システム支援機能の追加
・オンライン機能の追加

(8) V3.3.0.0 (2005年8月)

- ①システム定義 未実装操作の改良
1クリックでモジュールの実装/未実装を切り替えることが可能としました。また、未実装一括設定機能の1クリック操作により、構成ツリー上で選択されているモジュールとその階層下のモジュールを一括で未実装に設定または設定解除することができます。
- ②SPH2000対応
新系列CPUモジュールSPH2000に対応しました。

(9) V3.2.1.0 (2005年6月)

- ①製品名称の変更
従来の名称「D300win」より、「SX-Programmer Expert (D300win)」に名称を変更しました。
- ②変数エディタの変更
Microsoft Excel との連携、編集操作の改良、変数の一括挿入等の改良をしました。
- ③プロジェクト編集の改良
圧縮プロジェクト(ZWT ファイル)の解凍、プロジェクトツリーエディタの機能改良をしました。
- ④印刷機能の改良
プロジェクト印刷のページ指定印刷、変数ワークシートの折り返し印刷を追加しました。
- ⑤SPH300 I/O領域拡張への対応
SPH300 (V**64以降)のI/O領域拡張機能に対応しました。

(10) V3.2.0.0 (2005年4月)

- ①カーネル機能のバージョンアップ
・変数定義ダイアログの改善
・ファンクション/FB定義ダイアログの改善
・変数ワークシートの操作改善
・POUグループ機能の追加
・POUインポート/エクスポート機能の拡張
・マルチユーザ支援機能の強化
・サンプリングトレース機能の拡張
・メッセージウィンドウの改善
- ②プロジェクト履歴機能
ダウンロード成功後 (POU 変更含む) プロジェクトの履歴を保存する機能を追加しました。
- ③故障診断機能の改良
詳細RASに表示されるメモリダンプ表示の一部を文書表示します。

(11) V3.1.4.0 (2004年10月)

- ① プロセッサリンクモジュール最大構成数拡張対応
プロセッサリンクモジュール (PLINK、FL-net など) の最大構成数を 8 台へ拡張しました。
- ② システム定義の設定追加
システム定義のシステム動作定義設定に「CPU” 0” なしシステム立上げ」設定を追加しました。
システムプロパティのシステム縮退立上げ動作定義に「拡張設定」を追加しました。

(12) V3.1.3.0 (2004年8月)

- ① SPH CPUボード サンプリグトレース機能対応
サンプリグトレース機能を実装した CPUボード (NP3PS-SX1PCS74 V**63) へ接続時、高精度サンプリグトレースが起動するよう対応しました。

(13) V3.1.2.0 (2004年5月)

- ① 8kステップPOU対応
SPH300 (V**62以降) のPOU 8kステップに対応しました。
- ② SX制御ユーティリティの改良
メッセージマネージャによるオンライン接続に対応しました。
これにより、Expert (D300win) と制御ユーティリティが、同一ポートでの同時通信が可能になります。

(14) V3.1.1.0 (2003年12月)

- ① サンプリグトレース対応
SPH300 (V**61以降) のサンプリグトレース機能に対応しました。
- ② オンライン機能の改善
故障診断機能において、システム重故障集約情報に表示されるPOU番号に対応したPOU名を表示するように改良しました。

(15) V3.1.0.0 (2003年6月)

- ① 小形PLC SPB対応
SPBのIEC61131-3準拠プログラミングを可能としました。
- ② SPBシステムソフトユーティリティ
SPBの基本ユニットのシステムソフトウェア (ファームウェア) をSXモード (IEC61131-3準拠言語) に更新できます。
- ③ SX制御ユーティリティの機能追加
データ編集機能を拡張し、時間形、文字列形を追加しました。
バックアップファイルの読み込み、編集機能を拡張し、タブ区切りテキスト形式を追加しました。

(16) V3.0.0.0 (2002年12月)

- ① 新ラダーエディタ
ラダーワークシートの表示/編集を行うラダーエディタを、従来のフリーレイアウト形式から、グリッド枠固定形式に改良しました。これによりキー操作でのプログラミングが容易に行えます。
- ② 変数ワークシートのテーブル化
変数ワークシート (ローカル/グローバル) が表形式となり、変数の整理がし易くなります。
- ③ プロジェクトのプロテクト機能の追加
プロジェクトに対するパスワードによる木目細かいプロテクトが可能となり、セキュリティ性が向上します。
- ④ 故障診断機能の改良
構成情報を確認しながら故障情報を解析できるため、故障診断が容易となります。

5. 従来品との互換性

今回のバージョンアップによるプログラムの互換性は下表の通りです。

	旧バージョンで作成のプログラム	V3.3.7.1で作成のプログラム
NP4H-SEDBV3 旧バージョン	○	△
NP4H-SEDBV3 V3.3.7.1	○	○

新バージョンの機能を使用したプログラムは、旧バージョンの Expert (D300win) では非互換が発生します。

6. バージョンアップ方法

- (1) パソコンのハードディスクに任意のフォルダを作成します。
- (2) 作成したフォルダに V3. 3. 7. 1 用アップデートファイル「ExpertUpdateV3371. exe」をダウンロードし保存します。
- (3) ファイルをダブルクリックします。（アップデートファイルは自己解凍型圧縮ファイルです）
- (4) 作成したフォルダ内にファイルが解凍されます。
- (5) 解凍したファイルの「Setup. exe」をダブルクリックします。
- (6) インストーラの指示に従い、インストールを行います。
- (7) インストールが終わったら Expert (D300win) を立上げ、「ヘルプ」メニューの「情報」にて、バージョンが V3. 3. 7. 1 になっていることを確認します。

7. バージョンアップする際の注意事項

- (1) 本アップデートファイルは Expert (D300win) : NP4H-SEDBV3 がインストールされているパソコンにインストールしてください。
- (2) 本アップデートファイルは既にインストールされている Expert (D300win) のバージョンが V3. 0. 0. 0 以降でないとは利用できません。
- (3) 本アップデートファイルのサイズと実際にダウンロードしたファイルサイズが異なる場合は、インストールしないで破棄し、再度ダウンロードしてください。
- (4) 実行中のプログラム（Expert (D300win)、SX 制御ユーティリティ、メッセージマネージャ等）を終了してからインストールしてください。
- (5) インストール途中に何らかのエラーで処理が中断されてしまった場合、再度インストールしてください。再インストール時にエラーで中断される場合は、お手持ちの Expert (D300win) のセットアップCDで旧版をインストール後、再度アップデートファイルをインストールしてください。

プログラミング支援ツールのバージョンアップは、『Fe library』のページからダウンロードできます。

Fe library ENTER